



静内小唄制定60周年・静内小唄保存会設立10周年 12/12

静内小唄が作られて60周年、また静内小唄保存会（佐藤静男会長）が設立されて10周年を迎え、その記念式典及び祝賀会が町公民館で行われました。開会に先立ち、静内小唄（正調）に乗せての踊りを披露。佐藤会長は「人々の暮らしや情景を四季に織り込んだこの詩は、これからも語り継ぐ必要がある」とあいさつ。来賓の五十嵐議長は「保存会の皆さんの力で、歌の輪が広がっている。この誇れる文化遺産を次世代に引き継ぐ必要がある」と祝辞を述べました。



全国林業改良普及協会長賞 12/6

優秀な林業経営者を表彰する『全国林業改良普及協会長賞』に設楽智さん（三石川上、76歳）が選ばれ、新ひだか町役場で表彰状が北村日高振興局長から伝達されました。今回の受賞に、北村局長は「日ごろの森づくりにお礼を申し上げます」と話し、設楽さんは「受賞は森づくりセンターや家族の協力のおかげ。これからも1日でも1時間でも多く山に目を向けていきたい」と話しました。



第6回みついし牛枝肉共励会褒賞授与式 12/3

みついし牛の資質改善を図り、生産農家の経営安定と銘柄確立を目指して『第6回みついし牛枝肉共励会』が12月2日に東京食肉市場で開催され、みついし農協で入賞者の褒賞授与式が行われました。最優秀賞にはうらかわ共同肥育センター（浦河町）が、優秀賞には森功さん（三石美野和）の『花平』、小原覚さん（三石旭町）の『かつこ』などが選ばれ、江本組合長は「これからは品質の向上に努めていただきたい」とあいさつしました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



サクラユタカオーお別れ会 12/18

昭和61年の天皇賞・秋の優勝馬であり、町の功労馬であるサクラユタカオーが、去る11月23日に亡くなったことを受け、サクラユタカオーお別れ会（同実行委員会主催）が、桜舞馬公園で行われました。お別れ会は、馬魂碑に納骨された後、実行委員長である、酒井町長が「町に多大な貢献をした名馬であり、夢や希望を与えてくれた」と式辞。また、生産牧場の有限会社藤原牧場に感謝状が贈られるなど、しめやかに行われていました。



ポスターコンクール優秀賞 12/9

社団法人日本学校歯科医会による『歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール』で、幌村真紀さん（延出小学校3年）が全国150点の応募の中から、小学生低学年の部で優秀賞に選ばれ、延出小学校で伝達式が行われました。幌村さんは「絵を描くのが大好きで、きれいに歯を磨こうと思って一生懸命描きました」と話し、小泉校長は「閉校を前に明るいニュースが届き、うれしい」とよろこびを話しました。



歌笛小学校閉校式 12/5

明治時代から112年の歴史を誇った歌笛小学校が、来年4月から三石小学校に統合されることになり、閉校式が在校生や卒業生及び地域の方々、約260人が出席して行われました。式典では、酒井町長が「先人たちが立派な歴史を築き、これまで培われてきた伝統と校風を心に刻み、引き継いでほしい」とあいさつ。最後の卒業生となる6年生4人が歌笛小学校に「ありがとう」とお別れの言葉を述べ、学び舎に別れを告げました。



門別競馬場行き無料送迎バス乗車数1000人突破 11/18

ホッカイドウ競馬を応援することを目的に新ひだか町及び新冠町から運行してきた、門別競馬場までの直行無料送迎バスの乗車数が、ホッカイドウ競馬最終日のこの日、1,000人を突破しました。同競馬場には、今シーズン最後のホッカイドウ競馬を楽しもうと、たくさんの来場があり、ファン感謝のイベントが行われるなど、熱狂の中、幕を閉じました。



歳末特別警戒出陣式 12/15

静内警察署や関係団体等が参加し『歳末特別警戒出陣式及び歳末警戒パレード』が町公民館などで行われ、参加者は年末に向けて、交通安全や防犯意識を新たにしていました。



しずない海味の市 12/4

地産地消を目的に『しずない海味の市』が町観光協会ぼっぼで行われ、悪天候にも関わらず、お歳暮用などの新鮮海産物を求め、たくさんの町民で賑わっていました。



三石老人スポーツ大会 11/26

三石中学校体育館で『第37回新ひだか町三石老人スポーツ大会』が行われ、参加者は年齢を感じさせない元気なプレーを披露していました。



道民芸術祭『合唱祭』 11/21

日高管内道民芸術祭『合唱祭』が町公民館で行われ、新ひだか町の静内混声合唱団ブリューテなど管内から8組が参加し、会場はすてきな合唱の音色に包まれていました。